

月イチ♪コンサート

音楽を気軽に楽しめる場をつくることを目的に、市役所本庁舎1階の市民ロビーを会場に開催しています。



スプリングコンサート

出前コンサート

「月イチ♪コンサート」を市内全域に届ける取り組みとして、地域に出向いてのコンサートを実施しています。



出前コンサートin院内

家庭教育支援チームとの合同演奏会

家庭や地域における教育活動と連携し、親子で楽しめる音楽イベントを開催しています。



子どものための音楽会

ラジオによる情報発信

小学生から大人までの奏者の皆さんに出演いただき、音楽の魅力を幅広く伝えています。



音まちラジコン



音楽のまちゆざわ推進協議会の10年

協議会では、これまでさまざまな音楽事業を実施してきました。その中心となっているのが、毎月開催している「月イチ♪コンサート」です。
「月イチ♪コンサート」は、平成29年4月からスタートし、令和6年5月には来場者が1万人を達成することも、同年11月には開催100回目の節目を迎えました。気軽に音楽に触れられる場として、多くの皆さんに親しまれています。
そのほかにも、多彩な取り組みを行ってきました。

協議会特別企画コンサート

国内外で活躍する声楽家であり、湯沢市ふるさと応援大使である中鉢聡氏を招いたコンサートやJAZZコンサートなど、質の高い音楽に触れる機会を創出しています。



音まちJAZZライブ

音楽イベントへの協力

「音楽のまち“ゆざわ”」を象徴する「サマーミュージックフェスティバル」や「スプリングミュージックフェスティバル」などの市内の音楽イベントに積極的に協力し、地域の音楽文化の振興に貢献しています。



スプリングミュージックフェスティバル

音楽のまちゆざわ推進協議会は発足10年目を迎えました！



人と人をつなぎ、未来へ彩りを

問 音楽のまちゆざわ推進協議会事務局（生涯学習課社会教育班内 ☎ 73-2163）



日々誰もが音楽に触れ、楽しめる音楽による明るいまちづくりを目指して

市内の中学校の吹奏楽部や合唱部が全国大会で金賞を獲得するなど、音楽に関する活躍が目覚ましかったことを発端として、平成20年8月に第1回の開催となる「音楽のまち“ゆざわ”サマーミュージックフェスティバル」で「音楽のまち“ゆざわ”宣言」をしました。
また、宣言の理念をより具体的に推進するために平成29年4月に設立されたのが「音楽のまちゆざわ推進協議会」で、本年度で10年目を迎えました。
本協議会は、「地域で活動している音楽愛好者、音楽団体及び関係団体が一体となって、日々誰もが音楽に触れることができ音楽を楽しめるような取り組みを行い、もって音楽による明るいまちづくりを推進すること」を目的として活動を展開してきました。
設立の背景には、地域の文化活動の担い手の減少や、世代間の交流機会の不足といった課題がありました。そうした中で、音楽という共通言語を通じて、子どもから高齢者までが気軽に参加できる場を創出し、地域の一体感を育む取り組みとしてスタートしました。
以来、「音楽のある日常」を合言葉に、さまざまな取り組みを続けてきたことで、今では市民の皆さんにとって、気軽に楽しめる身近な文化活動として広がっています。



広がりを見せる音楽のまち“ゆざわ”

音楽のまち“ゆざわ”の取り組みは、地域に多様な効果をもたらしています。令和3年度から開催している「ウインドアンサンブルゆざわ」や、本年3月に開催した「スプリングミュージックフェスティバル」では、湯沢市にゆかりのある市外・県外の音楽愛好者が集い、音楽を通じた新たな交流が生まれています。これらの取り組みは、関係人口の創出・拡大の観点からも大きな成果を上げています。

また、毎月開催している「月イチ♪コンサート」でも県外からの出演申し込みがあり、本市の音楽文化は着実に市外へと広がりを見せています。さらに、台湾の児童生徒がサマーミュージックフェスティバルに出演したこときっかけに、台湾との交流も始まり、文化交流の一端を担うなど国際的な広がりも見せています。



県外音楽家が感じた、音楽のまち“ゆざわ”

作曲家(湯沢市民歌作曲家)
湯沢市ふるさと応援大使
鈴木 英史 さん

音楽のまち“ゆざわ”の魅力
東京生まれ東京育ちの自分が、ゆざわに関わることになったのは音楽を通じて。文化、伝統、人との関わり、人生で大切なことを学んだのも、ゆざわとゆざわの音楽を通して。
この文化芸術が、ゆざわを大いに魅力的な環境にしています。
いまや日本の音楽関係者にゆざわの名前は確実にインプットされています。
ふだん生きていると気づかない素晴らしい、それが伝統、魅力、アピールするものではないですか。ますますの普段通りの伝統を育んでいってくださいます。

3月の月イチ♪コンサート ひなまつりコンサート 出演



鎌倉交響楽団コンサートマスター
バイオリン奏者
五味 俊哉 さん
(神奈川県鎌倉市在住)

“ゆざわ”との出会い
地元である神奈川県を中心に活動していますが、好きでもあり、これまでも全国各地で演奏活動を行なっています。
今回、音楽のまち“ゆざわ”に初めてお伺いしましたが、熱心に耳を傾けてくださる皆さまに心を打たれました。機会があればまたぜひ出演したいと思っております。

5月の月イチ♪コンサート わかばのコンサート 出演



オカリナ製作者・奏者
千葉 稔 さん
(千葉県千葉市在住)

父の故郷で音楽を
父の故郷である湯沢でオカリナ演奏できたら…という以前からの願いを、月イチ♪コンサートで叶えていただきました。スタッフのかたがたは手際よく親切で、気持ち良く演奏させていただきました。音楽のまち“ゆざわ”、これからも応援しております！

音楽のまち“ゆざわ” 熱烈なファン

サマーミュージックフェスティバルや、10年目を迎えた「月イチ♪コンサート」には、毎回楽しみに足を運んでくださる方も多く、温かい声が寄せられています。今回は、そんな公演に思いを寄せてくださっている方の声をご紹介します。



石田 晴夫 さん

会場を埋め尽くす多くの市民。そこに心ときめく音楽が広がる。卓越した演奏の数々に胸を打たれ、懐かしい曲でも然り。
光溢れる市役所ロビーは、ほど良いスペースで音の響きも心地よく、音楽のまち“ゆざわ”スタッフの優しさにあふれる対応により素晴らしいコンサートホールに生まれ変わる。
その場に流れる音楽に身をゆだね、至福の時間を過ごしている。

思いが育てた音楽のまち“ゆざわ”



音楽のまちゆざわ
推進協議会 事務局
大野 多加志 さん

音楽は生活を豊かにする

音楽のまち宣言をすると知らされたとき、戦後の混乱の中、ゆざわの街をウイーンのように音楽であふれる街にしようと熱く語り合った若者たちが居たという話を思い出しました。その土壌がこの街にはあったのだと思います。
「日常的に市民の皆さんが音楽を楽しめる機会」や「湯沢市を離れた子どもたちが、音楽を通して集える場がもっとほしい」と感じたことが、音楽のまち“ゆざわ”づくりの土台になりました。
そんなことを考えながら活動を重ねていくと、コンサートを楽しみに待っていてくれる出演者やお客様が多くなり、この活動をいつまでも続けてほしいと口をそろえて話されるまでになりました。
皆さんの応援を力に「音楽は人の心を動かし、生活を豊かにするもの」という思いを持ち続けて、これからもこの活動をさらに前へと進めていきたいと思えます。

音楽のまち“ゆざわ”は、これからも人と人をつなぎ、地域を彩る存在として歩み続けます



▲昨年のフェスティバルバンド

音楽のまち“ゆざわ” サマーミュージックフェスティバル2026

日時 8月9日(日) / 午後1時開演
(午後0時30分開場)

場所 秋田エプソンゆざわホール
(湯沢文化会館)

出演 フェスティバル合唱団(中学生一般)
フェスティバルキッズ(小学生)
フェスティバルバンド(中学生一般)
秋田県立稲川支援学校 ほか

ゲスト 織田 浩司(オリタ ノボッタ)(サキソフォン奏者)
アトリオン少年少女合唱団

■入場料
(中学生以上) 800円(当日1,000円)

■入場券販売所
秋田エプソンゆざわホール、雄勝文化会館

詳細はYuzawARTホームページ(<https://yuzawart.com/events/smf2026>)をご覧ください。



YuzawART
ホームページ



Guest Comment

音楽のまち“ゆざわ”音楽大使
BIG HORNS BEE (米米CLUB)
サキソフォン奏者
織田 浩司(オリタ ノボッタ) さん

音楽は、演奏者と聴いてくださる聴衆の皆さんの心をつなぎます。音楽があふれる街!湯沢は、訪れるたびになんだか懐かしい…そして、心地よい素敵な街です。いつも里帰りのような気持ちになります。今年の夏も楽しみにしています。

サマーミュージックフェスティバル2026 プレイイベント 七夕の調べ 入場無料

◇日時 8月5日(水)/午後7時開演(午後6時30分開場)
◇場所 市役所本庁舎 1階市民ロビー
◇出演 アンディサイドッドJAZZカルテット&ボーカル

詳細はYuzawARTホームページ(<https://yuzawart.com/events/tanabata2026>)をご覧ください。



YuzawARTホームページ▶

サマーミュージックフェスティバル、プレイイベントに関するお問い合わせはこちら

音楽のまち“ゆざわ”サマーミュージックフェスティバル実行委員会(☎72-2121)